



B C P について

代表取締役社長 佐伯 敏充

先般、BCPの訓練を、岐阜県の訓練センターの指導のもとに受けました。我社は、昨年「事業継続計画(BCP)」を作り上げましたが、実際、震度六弱の地震が起きた事を想定した訓練を試みますと、ほとんど適切な行動がとれないのが現状であります。つまり、計画書、マニュアルはあるけれど、実践には、今のところ使えない状態にあるという事があります。しかし、現状を悲観する必要はありません。現状をしっかりと認識して、訓練や事前準備などによって着実にレベルUPしていけば良いのです。

私共の会社において、これからやっていくべき事は、まず「事業継続計画(BCP)」を全社員が理解する事があります。その上で、定期的に必要な訓練を行う事です。もう一つは事前対策であります。個人においても、会社においても災害が起こった時に、大きな被害を受けない様に、家庭・会社・現場における被害の予測をしっかりと行い、リスクアセスメント手法を使って優先順位を決め、事前対策が出来る事は、しっかりと行っておく事が大切であります。

それから、災害が起こった時の優先順位は、私は、一に社員及び社員の家族の安否確認と安全確保。次に今進行中の現場の対応。三目にお客様対応という事になります。これらのも、社員の皆さんがしっかりと頭に入れて、災害時に対応できる様にしていかなければならないと思っております。それから、私共は「全ての面でおお客様の期待を超えよう！」のもとに行動しています。災害時には、自分や自社の事で精一杯になつてしまいます。お客様に対しては、事前対策をしっかりと行っていたたく様、今のうちに提案をし、

災害時には、お客様から「佐伯に言われて事前対策を行ったが、おかげで被害が最小限で済んだ」と、喜ばれる様にする事が、私共が出来る最良の事であると思っています。そういう視点でお客様の建物の現況や環境を見て、適切な提案をしていく事が、私共がやっつけていかなければならない事です。

全社員が提案力を身につけ、お客様に大いに役に立つ会社、喜んでいただける会社にしていきましょう。

